

新年のご挨拶



福岡県議会議員  
小河 誠嗣

新年あけましておめでとうございます。商工会会員の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また平素より、地域の商工業を通して地域の発展に寄与されたいと思います。厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染が長引く中、私たち地域の生活や経済活動が厳しい事態となっております。昨年度は福岡県としても、国のコロナ対策に基づき、様々な独自策を含め、感染防止・経済支

援策を実施してまいりました。今後も地域の実情を注視し、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図っていく必要があります。

また、地球温暖化の影響による豪雨等の災害が毎年のように起きております。減災対策を行いながら市民の皆様の生命財産を守るため努力していかねばと考えています。

うきは市の素晴らしい自然や人々のつながり、先人が築いた地域の伝統・文化などを支える皆様方が住み続けるため、私自身、うきは市の思いを県政につないでいきたいと考えています。いつまでも住み続けたい、うきはは市づくりに皆様のお力をお貸しください。

本年が皆様にとりまして幸多き素晴らしい年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ



うきは市議会 議長  
中野 義信

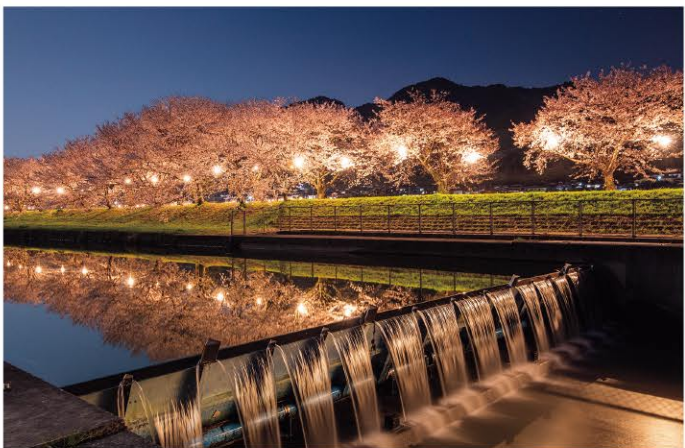
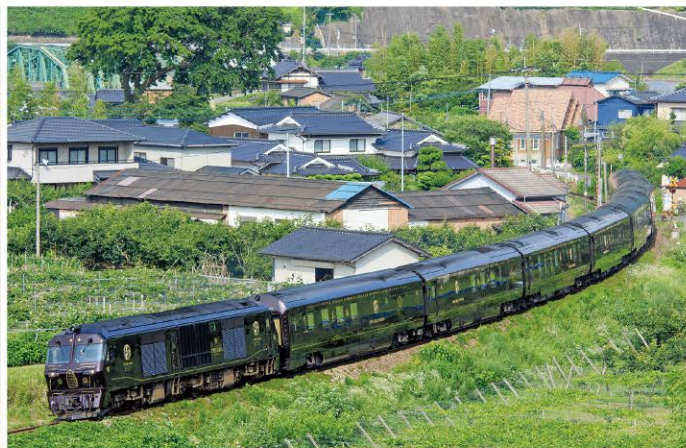
新年あけましておめでとうございます。商工会の皆様におかれましては、うきは市商工業の発展に多大なるご尽力をいただいておりますことに対し、心より敬意と感謝を申し上げます。

また、日頃から市議会に対する温かいご理解と格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

一昨年来、依然として新型コロナウイルス感染症の感染拡大の渦中にあり、中小企業・小規模事業者の方も大きな打撃を受け、厳しい状況を強いられています。商工会の皆様方からも、事業の継続と雇用の維持に努めながらも、未曾有の事態に大変苦慮されているという、切実な声もお聴きします。

商工振興の発展は、市施策の大きな柱でございます。市議会といたしましても、皆様と共にこの難局を乗り越え、うきは市の活力向上のため、引き続き尽力していく所存です。

結びになりますが、商工業界各位のご発展とご健勝を心からお祈り申し上げます。まして、新年のごあいさついたします。



1

事業報告

会員親睦視察研修

山口県萩市・長門市 飯田 敬介

11月14日から15日にかけて、山口県萩市、長門市に視察研修に行きました。初日は離島に架かる橋で、一般道路としては日本屈指の長さを誇る角島大橋を見学しました。2日目は毛利家の菩提寺である東光寺や吉田松陰を祀る松蔭神社を参拝しました。その後、「長門湯本温泉観光まちづくり計画」に携わった、市役所の職員の方の講習があり、計画の状況を学びました。

「長門湯本温泉観光まちづくり計画」では、長門湯本温泉の再生を目的に、地域と民間事業者、行政とが一体となり、さまざまな取り組みが行われていました。全国トップ10に入る人気温泉地となること、継続的な魅力づくりが生まれる好循環を生み出すことを目指し、魅力ある景観づくりが進められており、「厳しい観光客目線での評価に耐えてこそ、重要な地域資源や守ってきた伝統を未来につなぐことができる」といった姿勢が印象に残りました。その観光まちづくり計画は、うきは市の計画と相似的でした。

本研修で得たことを今後の商工会活動に繋げていきたいと思っております。



2

事業報告

うきは市商工会工業部会主催  
『小型移動式クレーン  
運転技能講習』開催 商工会事務局

この度、うきは市商工会工業部会では、会員事業所の労働力不足問題や従業員の資質向上と技術の習得を目的に、小型移動式クレーン運転技能講習会を開催しました。

10月1日(金)～3日(日)の3日間の日程で学科、実技のカリキュラムで行われ、会員事業所より13名の受講者が参加しました。試験は学科試験、実技試験の2段階で行われ見事全員合格しました。今後もうきは市商工会工業部会では、技能講習会を開催予定で、来年度は玉掛け技能講習会を開催する予定です。



3

事業報告

うきは市商工会工業部会主催  
住まいの相談事業  
(奉仕活動)

山崎 廣司

11月28日と12月5日の日曜日、2回にわたり工業部会の奉仕活動が開催されました。1回目は材料などを調達するための下調べをし、2回目は現場で作業するという工程でした。

現場監督兼下部作業はTさん、材料運搬作業はMさん、上部作業は私でした。一軒目は、3人の見事な連携で手際よく終わりました。作業後、家主さんからお茶を振る舞っていただきました。そして、精算の際、材料費のみいただく、少しでも労務費を支払いたい様子でしたが、それをお断りするととても感謝されました。貴重な休日を割いた時間でしたが、そんな家主さんの気持ちに報われたような気がしました。

そして、二件目。ここは毎年常連のようでした。作業内容は屋根の補強です。ここで他の現場を終えた仲間たち4人も応援に来てくれました。さすが商工会親会。そんな団結力で、短時間で作業を終えました。すると家主さんが、「この人数の日当を支払うと、えらいことだった」と言いました。私は返す言葉が見つかりませんでしたが、現場監督のTさんが「また来年ね」と言いました。それを聞いた私は思いました。神対応だ。

今回の奉仕活動を通し、タキロンを重ねて設置する際、重なりの下側は端が上向きになるよう設置すると、雨水の浸入を軽減する効果があることを学びました。わりと重労働で大変な思いをしましたが、いろいろと学びの多い事業でした。